

令和元事業年度
財務レポート
Financial Report

9

5

0

2

国立大学法人

九州工業大学

Kyushu Institute of Technology

大学の思い

知を繋ぎ、知で繋ぎ続ける

九州工業大学に向けて

-「強い信頼関係」でグローバル社会の要請に応える

質の高い教育研究活動の実現-

財源の多様化による
特色ある教育研究
活動の展開



学外とのつながり
キャンパスの多様化
による活気溢れる
大学づくり



質の高い
教育研究活動
の実現

グローバル環境
で活躍し続ける
技術者の育成

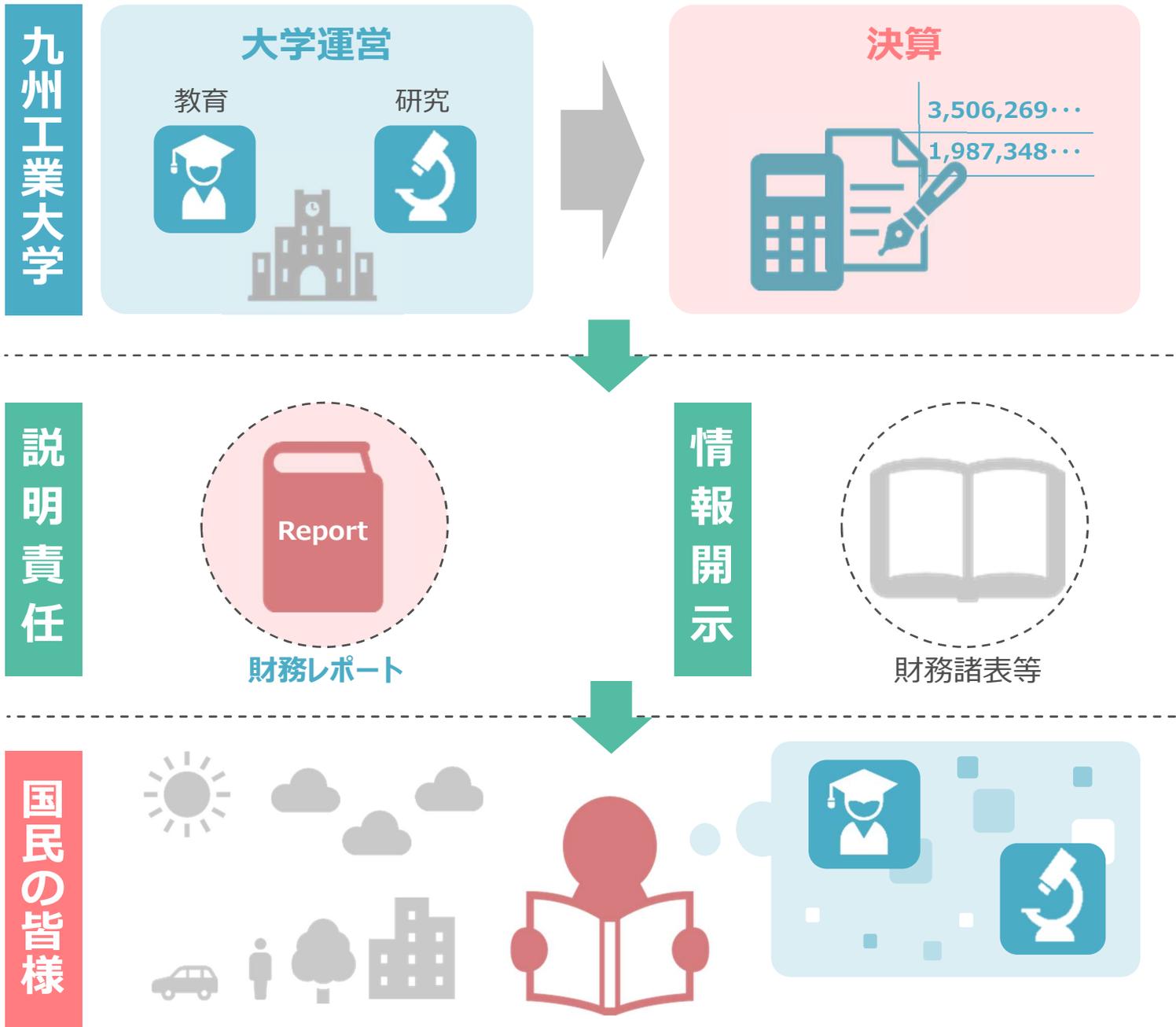


社会との対話を
通じた本学活動
の学外への発信



企業との研究連携
の促進

財務レポートの公表にあたって

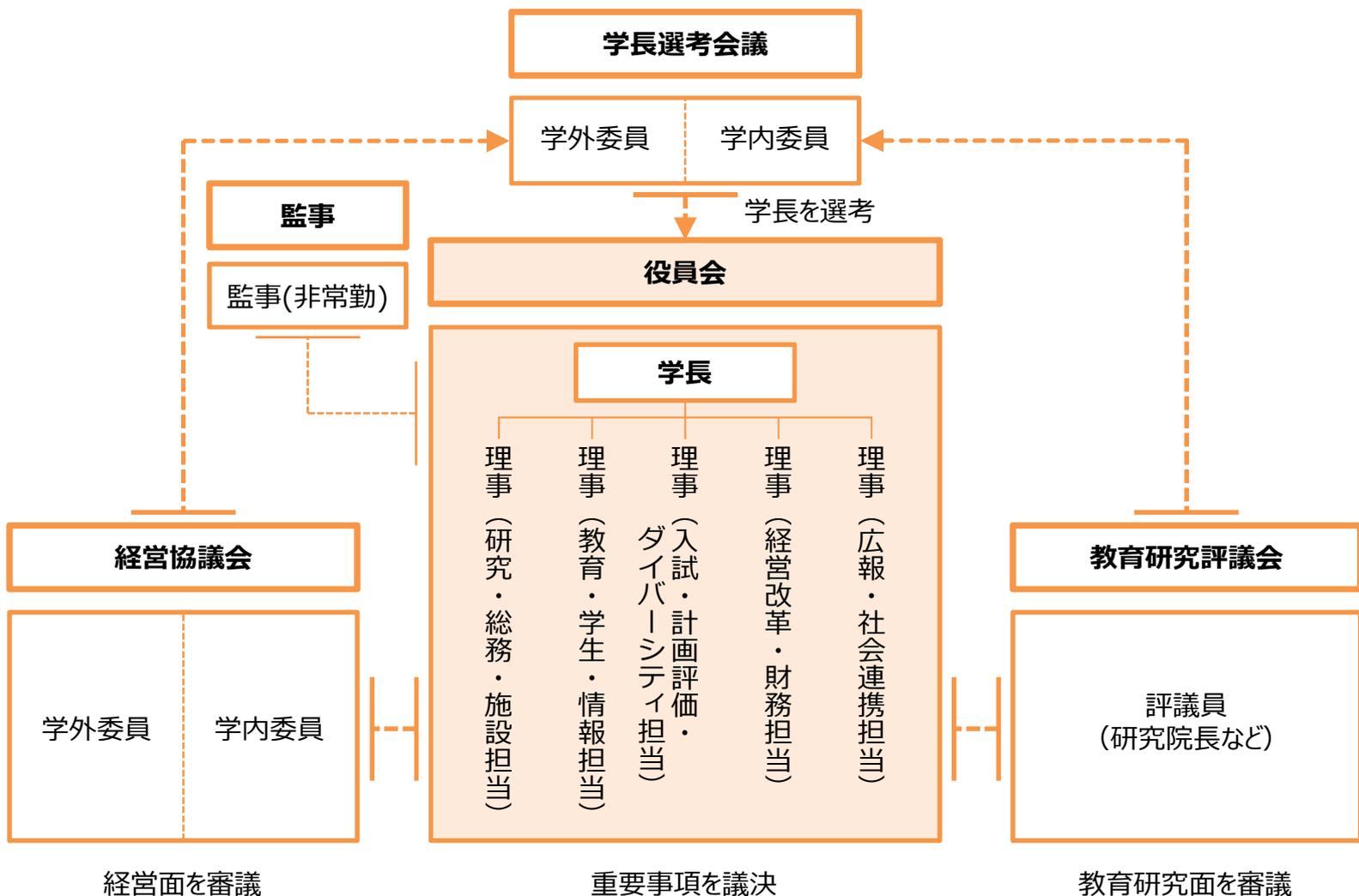


国立大学法人の財務諸表等は、企業会計原則に準じた国立大学法人会計基準により作成しています。しかしながら、大学は教育研究活動を主な業務とする特性上、いくつかの点で利潤の追求を目的とする一般の企業とは異なる会計処理を行っています。

そこで、本学では納税者でもある国民の皆様に対する情報開示及び説明責任の一環として、本学の財務状況と具体的な取り組み等を分かりやすく記載した財務レポートを発行しています。

本財務レポートを皆様と本学との相互理解のためにご活用いただければ幸いです。

ガバナンス体制



役員会

学長と理事で構成される合議体です。国立大学法人法第11条に規定する大学運営上の重要事項を決議します。

経営協議会

学長と理事、学長が指名する職員、学外委員で構成される機関です。国立大学法人法第20条で規定する大学の経営に関する重要な事項を審議します。委員の過半数が外部委員で、学外の有識者の意見を反映できる仕組みとなっております。

教育研究評議会

学長と理事、各研究院長・研究科長、学外委員で構成される機関です。国立大学法人法第21条で規定する大学の経営に関する重要な事項を審議します。委員の過半数が外部委員で、学外の有識者の意見を反映できる仕組みとなっております。

監事

業務の適性や効率的な運営を確保することを目的としております。必要に応じて文部科学省大臣や学長へ意見を提出することができます。

九工大の活動報告

教育

本学では、正課外活動として、課題探求とその解決能力を涵養し、工学基礎力とともに、コミュニケーション能力、及び幅広い教養を身につけ、企業や社会において先導的リーダーシップを発揮することのできる創造的人材の育成を目的とした学生プロジェクト事業を実施しています。本プロジェクトの推進のため、大学からの財政支援（令和元年度 2,200万円）だけでなく、本取組に共感いただいた、民間企業からも支援いただいています（計4社）。

学生プロジェクトの一つである「HiBikino-Musashi@Home」は世界最大の競技会である「RoboCup2018」で優勝し、大会2連覇を成し遂げるなど顕著な成果を挙げています。

さらに、令和元年度にて、学生プロジェクト「衛星開発プロジェクト」、「学生フォーミュラチーム KIT-formula」はクラウドファンディングを実施し、目標金額を大幅に上回る金額を獲得し、プロジェクトを推進しています。

QTnet

YASKAWA
安川電機

株式会社 佐 電 工



創業寛永七年
千鳥屋本家

企業からの
支援が充実！



本学が平成30年度に設置した「eポートフォリオ※1による学修成果の可視化コンソーシアム」での取組について、産学連携教育審議会※2において紹介し、意見交換を行っています。同コンソーシアムについては、平成30年度に設置したにもかかわらず、他大学、民間企業からの関心が高く、令和元年度までに17機関もの参加があり、幹事校である本学でキックオフフォーラムも行っています。

学

全国の国公私立大学で
e-ポートフォリオの取組に関
心のある大学との連携

教育の質保証に
関する取組報告

e-ポートフォリオによる学修成果の
可視化コンソーシアム

産

産学連携教育審議会に
参加頂いている企業への協
力依頼

産業界の意見・
ニーズ

参画機関 8 → 17 機関



▲ キックオフフォーラムの様子

※1 学生の学内外活動や成績等に関する、デジタルで管理された活動記録

※2 民間企業等で採用や人材育成に携わっている要職の方を構成員とし、本学が進めている教育改革等に産業界からの意見を取り入れることを目的として開催

九工大の活動報告

研究

国際連携研究の促進を目的として、マレーシアのプトラ大学内に設置している海外教育研究拠点MSSC※3を活用し、3件のジョイント・リサーチ・プログラムを実施するとともに、新たに同国のペトロナス工科大学とのプログラム2件を開始することとなりました。

また、台湾科技大学（台湾）とも5件のジョイント・リサーチ・プログラムを実施し、国内においても、情報通信研究機構（NICT）とのプログラムを5件開始しました。



3 件



2 件



5 件



5 件

本学のシーズを広く産業界のニーズにマッチングさせることを目的として、国内マッチングイベント（イノベーション・ジャパン※4）への出展や新技術説明会の開催などにより、独自技術に関する情報を積極的に発信しました。

また、学長はじめ大学執行部が企業訪問を行うなど、産業界との接点を拡大した結果、「組織」対「組織」の大規模な産学連携である共同研究講座の開設が進むなど、企業との連携が加速しています。

▼ 共同研究講座一覧

| 講座等名称 | 設置期間 |
|-----------------------------------|----------------|
| SUMCO共同研究講座 | 平成29年7月～（3年間） |
| IoTシステム実装研究講座（パナソニック共同研究講座） | 平成29年11月～（3年間） |
| ECCウェルネス共同研究講座 | 平成30年4月～（3年間） |
| デンソーLean Automation 共同研究講座 | 平成30年4月～（3年間） |
| プラントライフサイクルエンジニアリング（PLE-TAKADA）講座 | 平成30年4月～（3年間） |
| 安川電機ロボット新技術開発講座 | 平成30年8月～（3年間） |
| デンソー生産準備IoT共同研究講座 | 平成30年10月～（3年間） |
| 機能性材料 共同研究部門 | 令和元年4月～（3年間） |
| 新規材料分子設計 共同研究部門 | 令和元年4月～（3年間） |
| 釜屋電機超高信頼性デバイス 共同研究部門 | 令和元年8月～（3年間） |

件数 **8** 件（平成30年度）

受入金額 **1億3,766**万円



10 件（令和元年度）

3億 2,200万円

※3 平成25年度に本学が国際交流協定校であるマレーシアプトラ大学内に開設した国立大学初の海外教育研究拠点

※4 国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)と国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の主催による国内最大規模の産学マッチングイベント

九工大の活動報告

グローバル化

令和元年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施した「大学機関別選択評価」の評価報告書が公表され、本学は「教育の国際化」の評価を受審し、すべての評価項目において最も高い評価を得ることができました。

本学では平成24年度より、グローバルに活躍する技術者の養成を目的としたGCE(Global Competency for Engineer)教育を推進してまいりました。今回の評価では特に、このGCE教育の取組、海外派遣の促進、海外拠点の展開、海外の交流協定校との連携実績の可視化などが高く評価されています。

◆評価結果(評価報告書より抜粋)

九州工業大学は「選択評価事項C 教育の国際化の状況」において、目的の達成状況が**極めて良好**である。
 「国際的な教育環境の構築」については一般的な水準から**卓越している**。
 「外国人学生の受入」については一般的な水準から**卓越している**。
 また、「国内学生の海外派遣」については一般的な水準から**卓越している**。



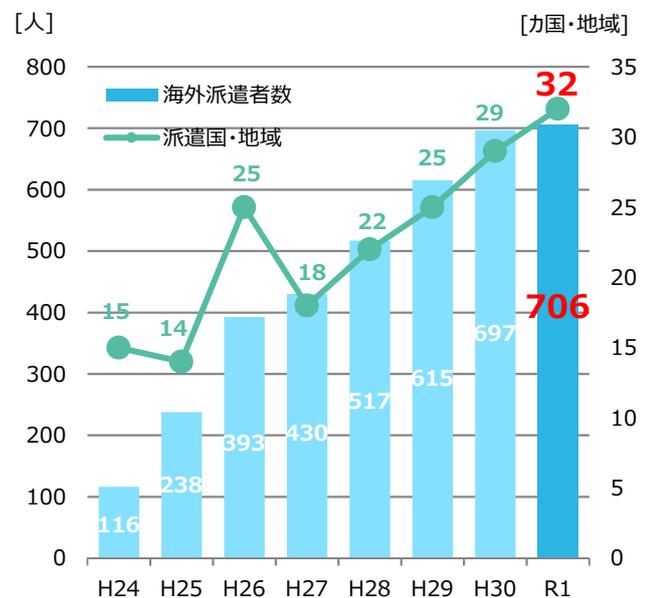
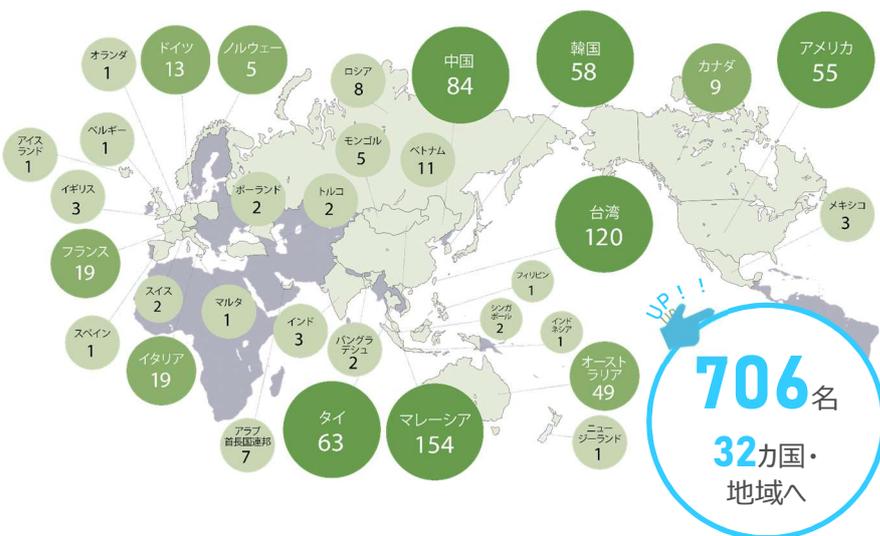
▲ 認定書



▲ 認定マーク

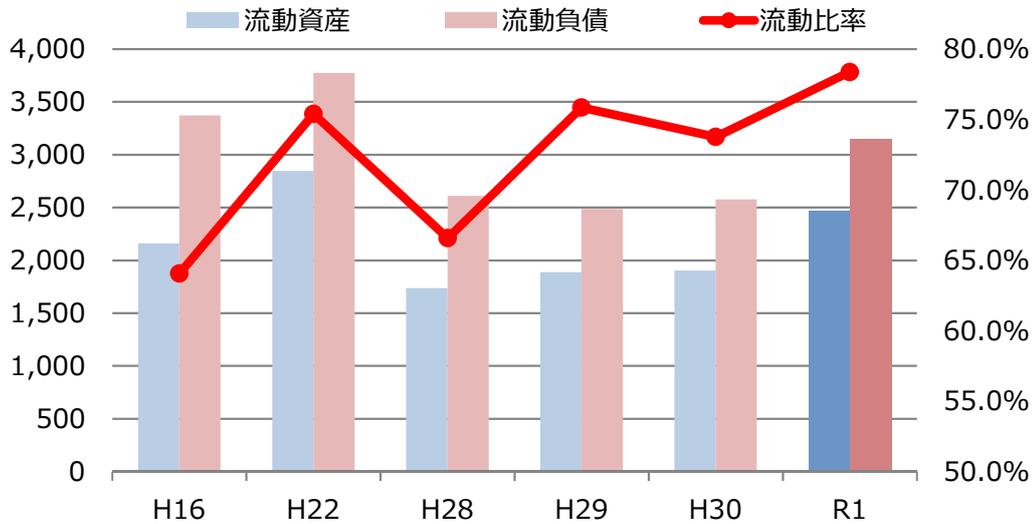
グローバル化社会の中で活躍し続ける技術者を養成する教育の一環として、学生を積極的に海外へ派遣しています。

令和元年度の学生の海外派遣実績は、**32カ国**の国、地域に**706名**を派遣しており、第2期の最終年度である平成27年度の430名から飛躍的に派遣者数を増加させ、**60%以上**の伸びとなっています。この本学の派遣率は、平成30年度においては、国立大学としては全国3位となっており、高い派遣率といえます。また、海外からの留学生受入れも、平成27年度では457名でしたが、平成30年度には630名と増加し、令和元年度においても710名の学生を受け入れており、海外派遣、留学生受入による国際交流が活発に行われているといえます。

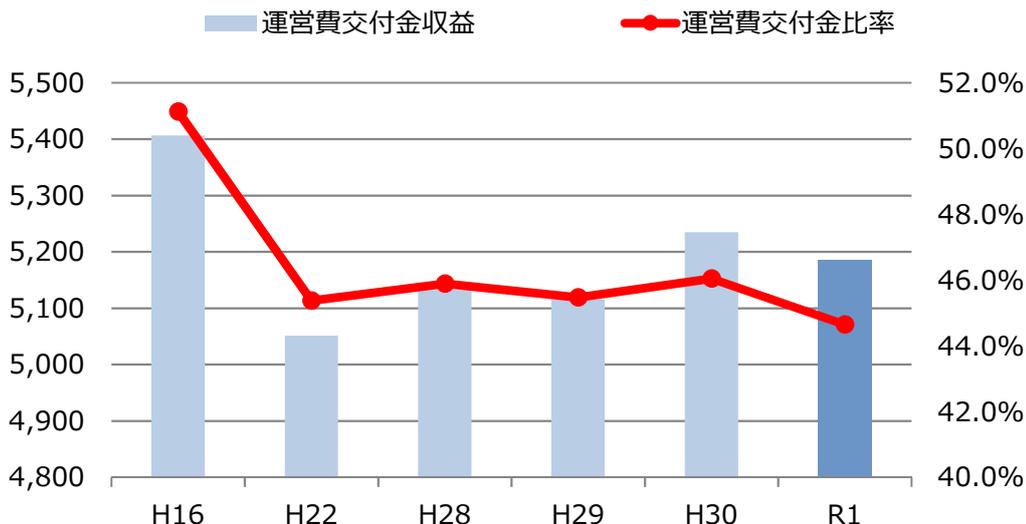


数字で見る九工大 財務指標 1

| 流動比率 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|----------------------------------------------------|-----------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| 財務の安全性を示す指標。 数値が高いほど短期の支払い余力がある。 （流動資産÷流動負債） | 流動資産（百万円） | 2,159 | 2,846 | 1,737 | 1,886 | 1,901 | 2,469 |
| | 流動負債（百万円） | 3,371 | 3,775 | 2,609 | 2,487 | 2,577 | 3,150 |
| | 流動比率 | 64.1% | 75.4% | 66.6% | 75.8% | 73.8% | 78.4% |



| 運営費交付金比率 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|--------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| 財政の健全性を示す指標。経常的な活動に係る収益のうち、どの程度運営費交付金に依存しているかを示す分析比率。 （運営費交付金収益÷経常収益） | 運営費交付金収益（百万円） | 5,405 | 5,051 | 5,132 | 5,115 | 5,235 | 5,186 |
| | 経常収益（百万円） | 10,576 | 11,132 | 11,184 | 11,249 | 11,369 | 11,615 |
| | 運営費交付金比率 | 51.1% | 45.4% | 45.9% | 45.5% | 46.0% | 44.6% |

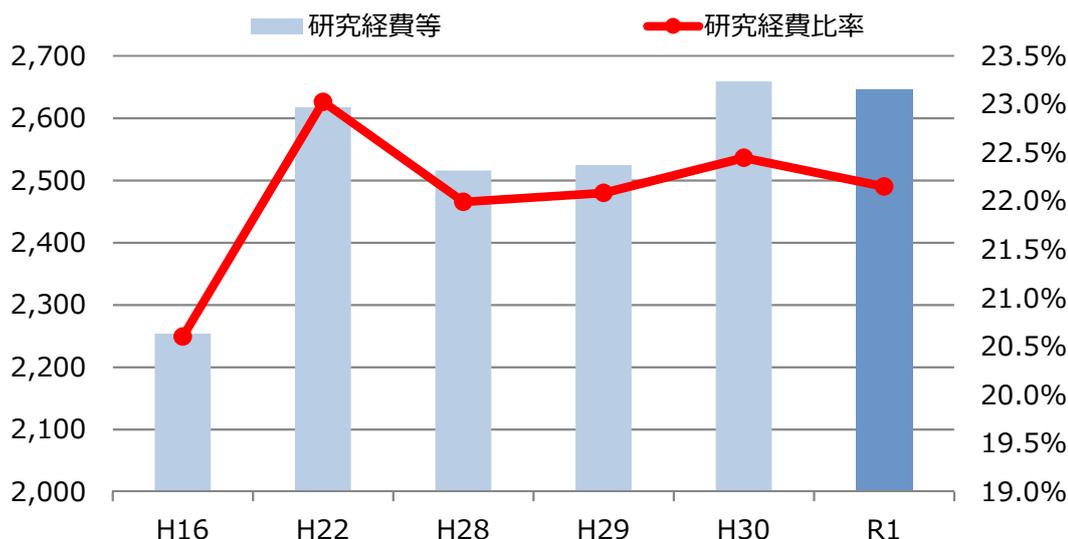


数字で見る九工大 財務指標 2

| 教育経費比率 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------|--------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| 財務の活動性を示す指標。 大学の経常的活動のうち、 教育活動が占める比率。比 率が大きいかほど、教育活動に 係る資源消費量が大い。 (教育経費÷経常費用) | 教育経費（百万円） | 1,023 | 1,226 | 1,556 | 1,598 | 1,552 | 1,645 |
| | 経常費用（百万円） | 10,352 | 10,992 | 11,042 | 11,089 | 11,471 | 11,546 |
| | 教育経費比率 | 9.9% | 11.1% | 14.1% | 14.4% | 13.5% | 14.2% |

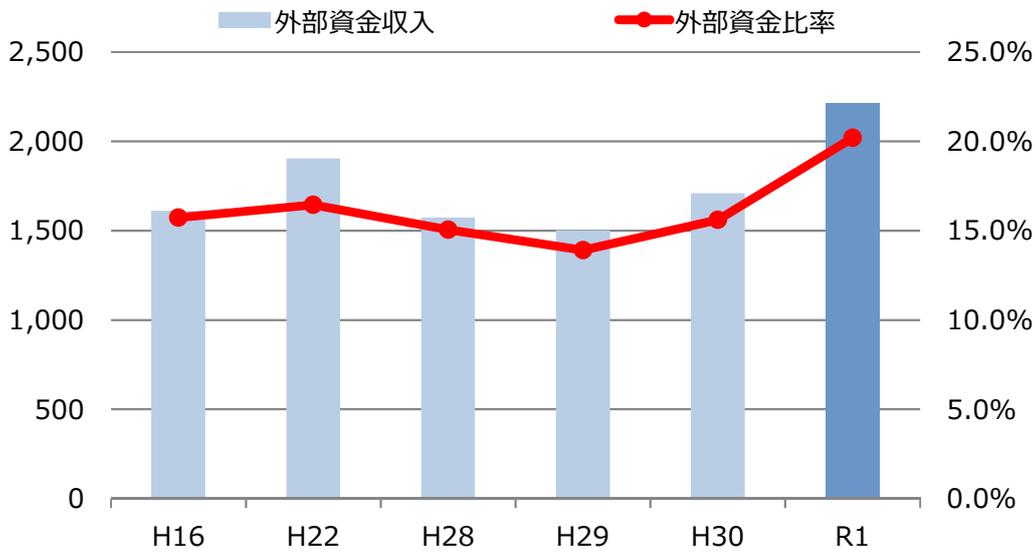


| 研究経費比率 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| 財務の活動性を示す指標。 研究活動で消費される経 費が大学の総経費に占め る割合。値が大きいかほど、 研究活動に使用される。 資源の割合が高い。 (研究経費等÷経常費用 等) | 研究経費等（百万円） | 2,254 | 2,617 | 2,516 | 2,524 | 2,659 | 2,646 |
| | 経常費用等（百万円） | 10,939 | 11,368 | 11,441 | 11,430 | 11,846 | 11,944 |
| | 研究経費比率 | 20.6% | 23.0% | 22.0% | 22.1% | 22.4% | 22.2% |

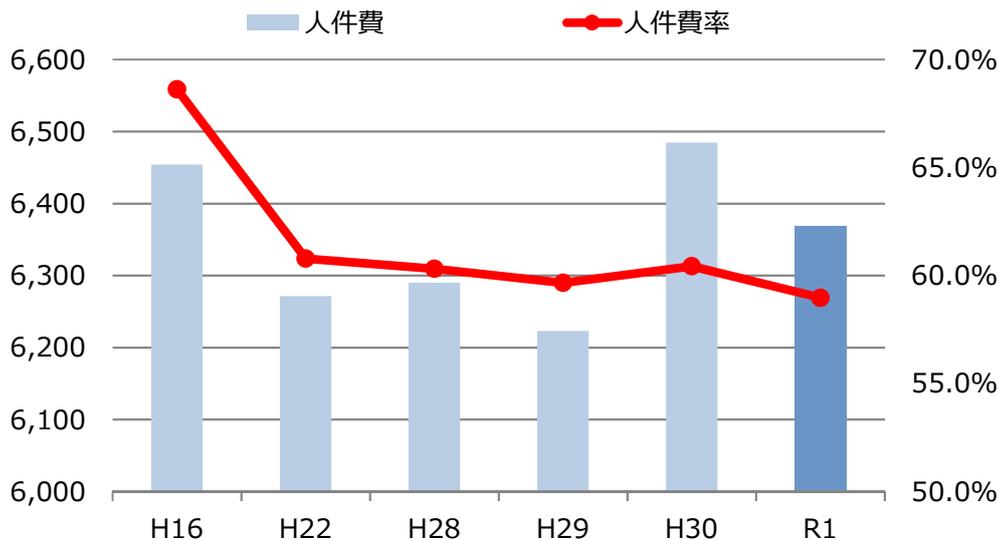


数字で見る九工大 財務指標 3

| 外部資金比率 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|----------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| 財務の発展性を示す指標。 決算報告上の収入計に対する外部資金の割合。数値が大きいほど、財源の多様化が進んでいる。 （外部資金収入÷収入） | 外部資金収入 （百万円） | 1,611 | 1,903 | 1,573 | 1,501 | 1,710 | 2,213 |
| | 収入（百万円） | 10,236 | 11,567 | 10,446 | 10,796 | 10,956 | 10,957 |
| | 外部資金比率 | 15.7% | 16.5% | 15.1% | 13.9% | 15.6% | 20.2% |

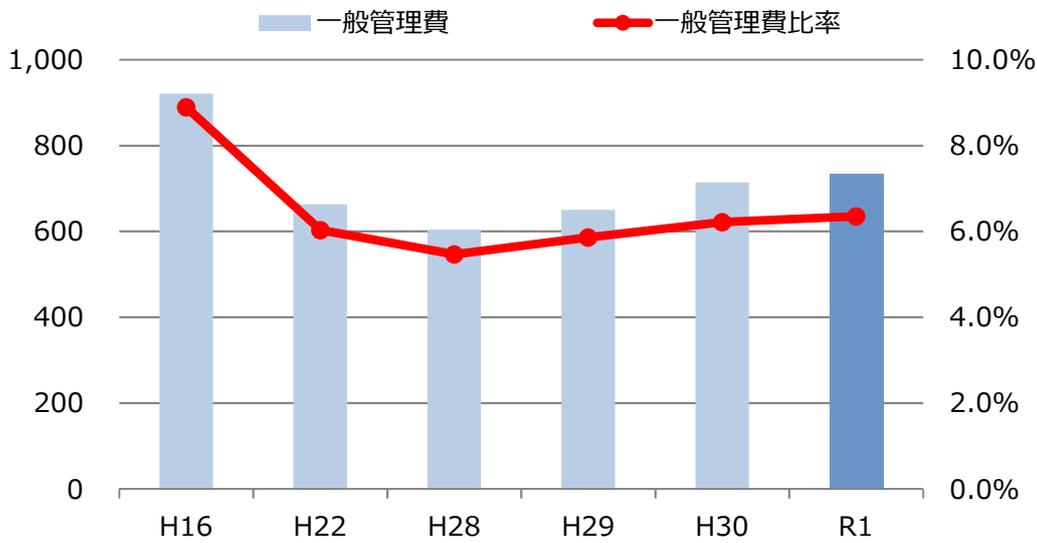


| 人件費比率 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------|--------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| 財務の効率性を示す指標。 人件費が法人の業務費に占める割合を示した分析比率。比率が高いほど、労働集約的な費用構造。 （人件費÷業務費） | 人件費（百万円） | 6,454 | 6,271 | 6,290 | 6,223 | 6,485 | 6,369 |
| | 業務費計（百万円） | 9,404 | 10,315 | 10,428 | 10,431 | 10,729 | 10,800 |
| | 人件費比率 | 68.6% | 60.8% | 60.3% | 59.7% | 60.4% | 59.0% |

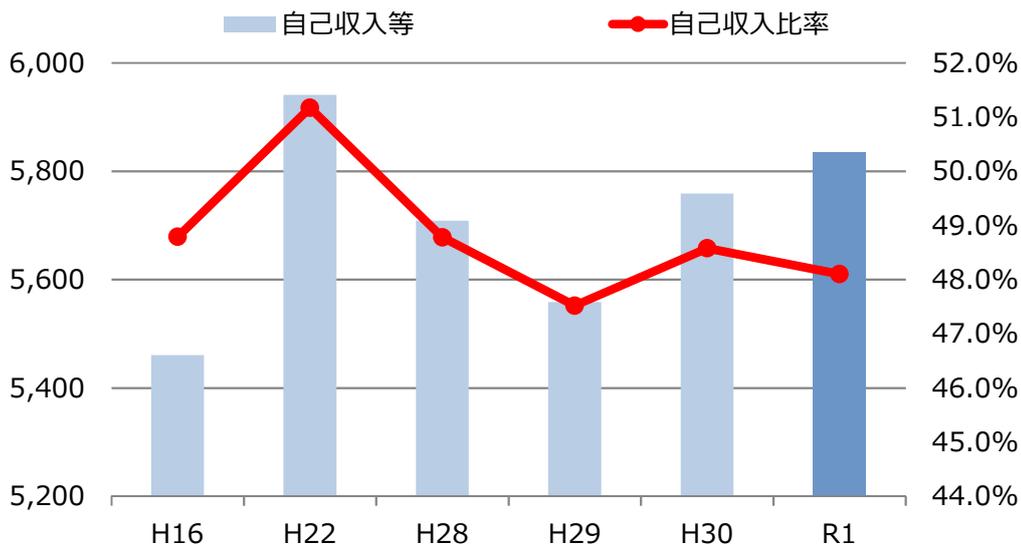


数字で見る九工大 財務指標 4

| 一般管理費比率 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| 財務の効率性を示す指標。経常費用に占める一般管理費の割合を示す分析比率。比率が高いほど、管理的経費が大きい。 （一般管理費÷経常費用） | 一般管理費（百万円） | 921 | 663 | 604 | 650 | 714 | 734 |
| | 経常費用（百万円） | 10,352 | 10,992 | 11,042 | 11,089 | 11,471 | 11,546 |
| | 一般管理費比率 | 8.9% | 6.0% | 5.5% | 5.9% | 6.2% | 6.4% |



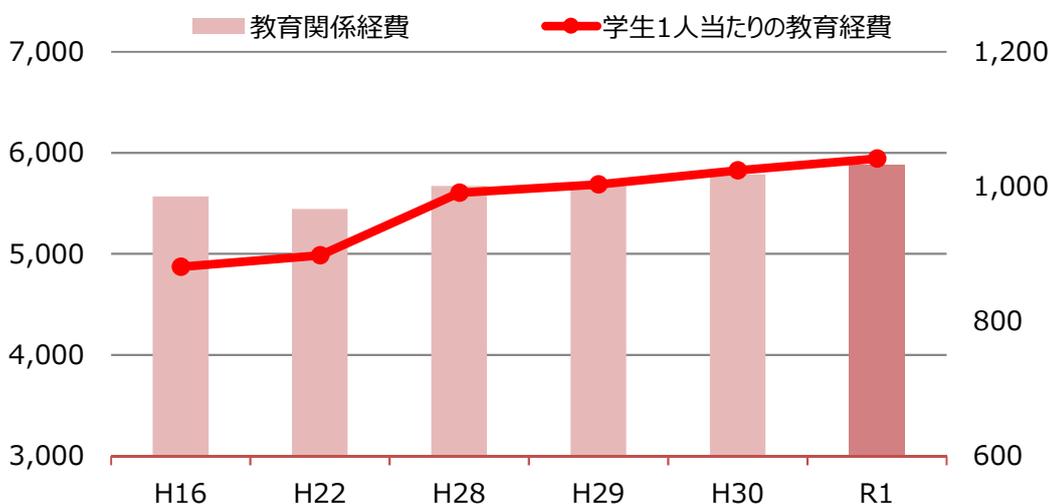
| 自己収入比率 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|---------------------------------------------------------------------------|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| 財務の収益性を示す指標。法人の収益のうち自己収入等が占める割合を示す分析比率。比率が高いほど、財務の自立性が高い。 （自己収入等÷経常収益） | 自己収入等（百万円） | 5,461 | 5,941 | 5,709 | 5,558 | 5,759 | 5,834 |
| | 経常収益（科研費を含む）（百万円） | 11,192 | 11,610 | 11,703 | 11,696 | 11,855 | 12,129 |
| | 人件費比率 | 48.8% | 51.2% | 48.8% | 47.5% | 48.6% | 48.1% |



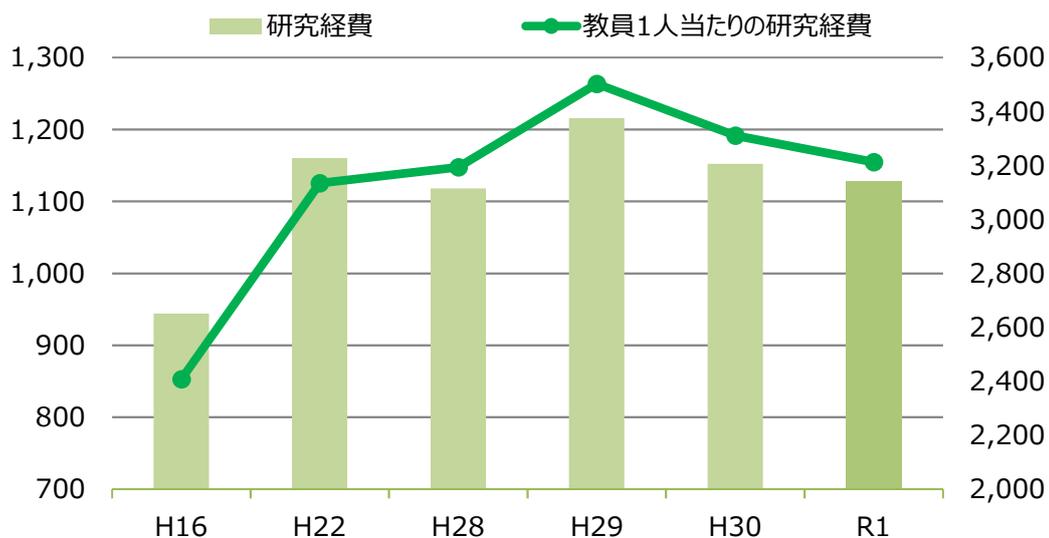
数字で見る九工大 教育・研究 1

| 学生一人当たりの教育経費 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|----------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| (教育関係経費÷在籍学生数) | 教育関係経費（百万円） | 5,565 | 5,443 | 5,670 | 5,670 | 5,785 | 5,879 |
| | 在籍学生数（人） | 6,318 | 6,063 | 5,723 | 5,653 | 5,649 | 5,646 |
| | 教育関連経費/学生一人（千円） | 881 | 898 | 991 | 1,003 | 1,024 | 1,041 |

※教育関係経費は、損益計算上の教育経費（学生等に対し行われる教育に要した経費）の他、教員人件費等を加算した額です。

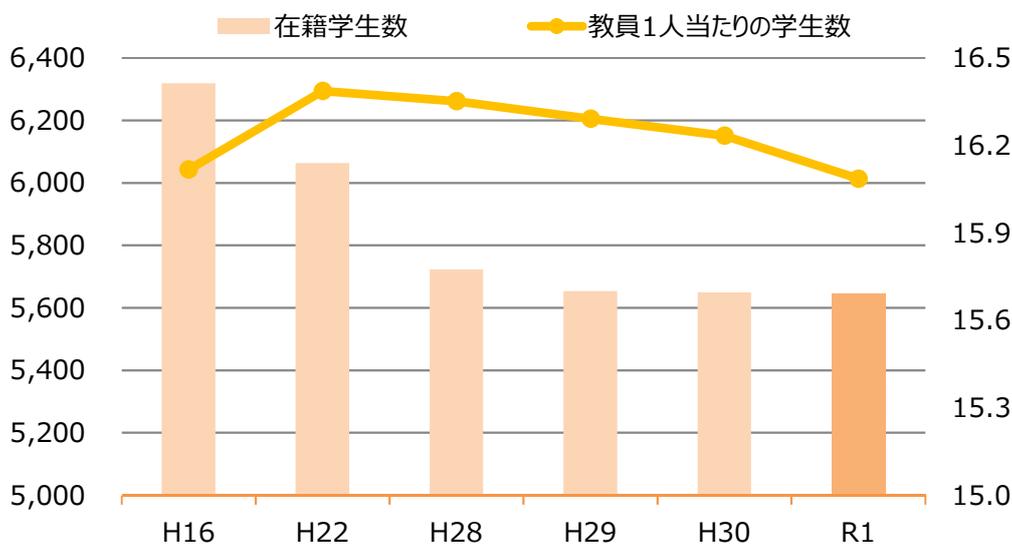


| 教員一人当たりの研究経費 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| (研究経費÷教員数) | 研究経費（百万円） | 944 | 1,160 | 1,118 | 1,216 | 1,152 | 1,128 |
| | 教員数（人） | 392 | 370 | 350 | 347 | 348 | 351 |
| | 研究経費/教員一人（千円） | 2,408 | 3,135 | 3,194 | 3,503 | 3,310 | 3,213 |



数字で見る九工大 教育・研究 2

| 教員一人当たりの学生数 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|-------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|-----------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| （在籍学生数÷教員数） | 在籍学生数（人） | 6,318 | 6,063 | 5,723 | 5,653 | 5,649 | 5,646 |
| | 教員数（人） | 392 | 370 | 350 | 347 | 348 | 351 |
| | 学生数/教員一人 （人） | 16.1 | 16.4 | 16.4 | 16.3 | 16.2 | 16.1 |



教育・研究経費（令和元年度）

▶ 学生一人当たりの教育経費

104万円



▶ 教員一人当たりの研究経費

321万円

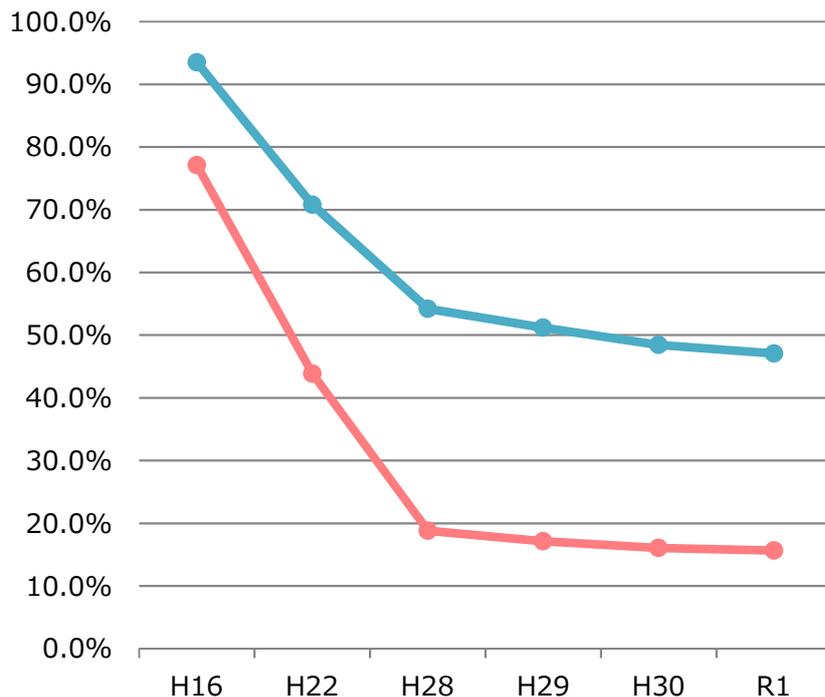
▶ 教員一人当たりの学生数

16.1人

数字で見る九工大 施設・設備

| 施設・設備の残存度 | | 第1期初 16年度 | 第2期初 22年度 | 第3期初 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和 元年度 |
|----------------------------------------------|---------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 指標の概要（計算式） | 項目（単位） | | | | | | |
| （施設の残存度 = 建物・構築物の簿価 ÷ 建物・構築物の取得価額） | 施設の残存度 | 93.5% | 70.8% | 54.2% | 51.2% | 48.5% | 47.1% |
| | 建物・構築物の簿価 (百万円) | 13,264 | 13,870 | 12,379 | 11,772 | 11,180 | 11,125 |
| | 建物・構築物の取得価額 (百万円) | 14,182 | 19,588 | 22,834 | 23,003 | 23,070 | 23,628 |
| （設備の残存度 = 工具器具備品・機械装置の簿価 ÷ 工具器具備品・機械装置の取得価額） | 設備の残存度 | 77.1% | 44.0% | 18.8% | 17.1% | 16.1% | 15.7% |
| | 工具器具備品・機械装置の簿価 (百万円) | 2,435 | 3,252 | 1,898 | 1,730 | 1,653 | 1,590 |
| | 工具器具備品・機械装置の取得価額 (百万円) | 3,158 | 7,391 | 10,086 | 10,099 | 10,280 | 10,147 |

● 施設残存度 ● 設備残存度



- 施設・設備の残存度が年々低下していることから、施設・設備への投資額以上に、老朽化・陳腐化が進行していることがわかる。
- 教育・研究に対するニーズを踏まえて、施設・設備の整備を進めるとともに、老朽化した資産の更新投資を行っていくことが重要である。

国立大学法人財務諸表相関図

貸借対照表

令和2年3月31日における本学の財政状態を示すもので、全ての資産・負債及び純資産の状況を表します。

損益計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日の本学の事業規模を明らかにするもので、本学の教育・研究等の業務運営に要した費用、運営費交付金・自己収入等による収益や利益の発生状況を表します。

利益の処分に 関する書類

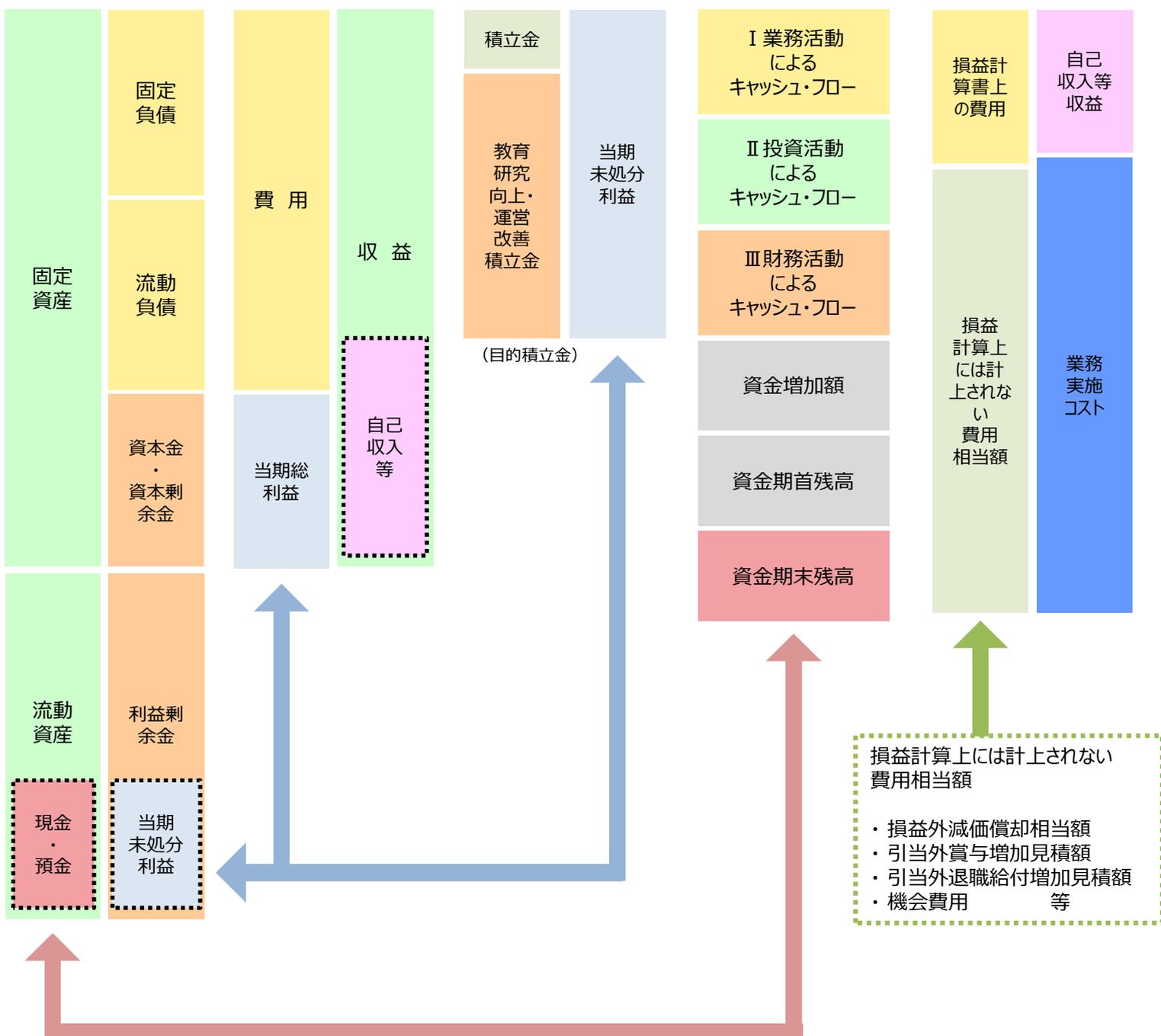
損益計算書により算定された当期末処分利益の処分内容を表します。

キャッシュ・フロー 計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日の1年間の本学の資金の流れを一定の活動別に区分して表します。

業務実施コスト 計算書

本学の教育・研究等の業務運営に要した費用のうち、どれだけ国民負担により賄われたかを表します。



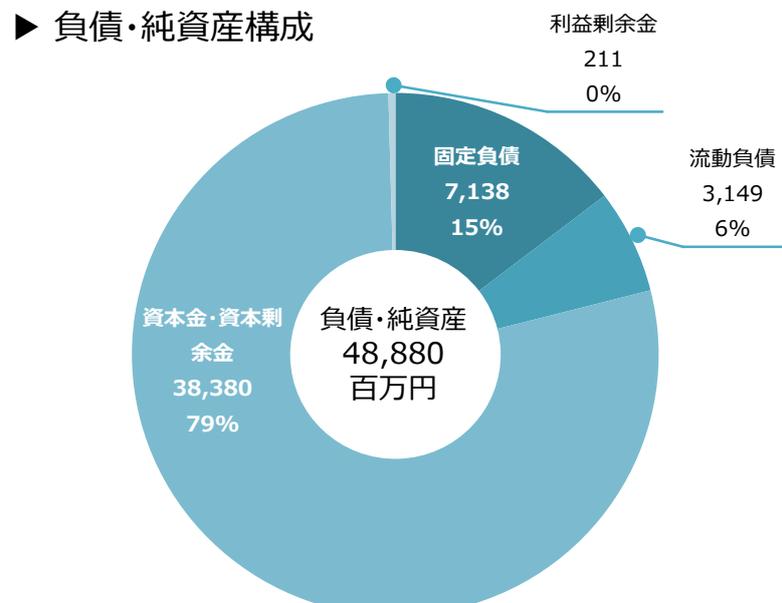
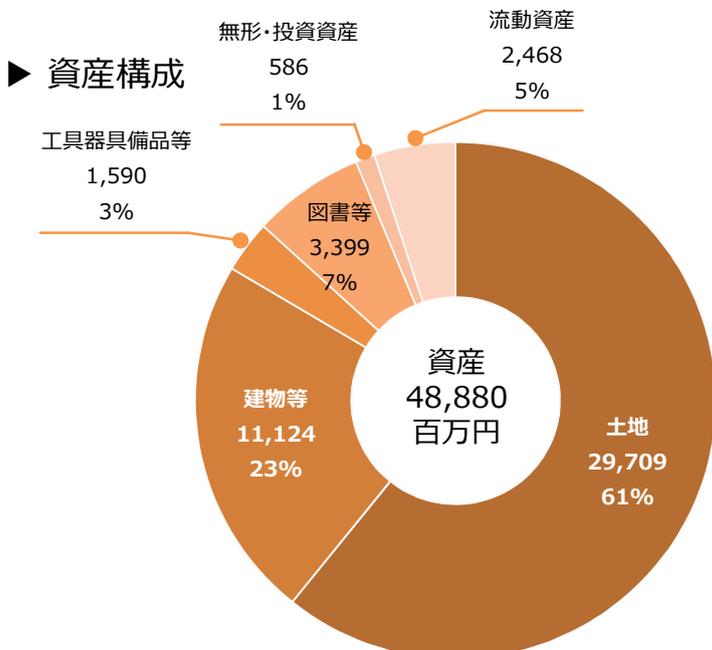
- 損益計算上には計上されない費用相当額
- ・ 損益外減価償却相当額
 - ・ 引当外賞与増加見積額
 - ・ 引当外退職給付増加見積額
 - ・ 機会費用 等

貸借対照表の概要

【単位：百万円】
※百万円未満切り捨て

| 科目 | 30年度 | 元年度 | 増減 | 科目 | 30年度 | 元年度 | 増減 |
|-------------|---------------|---------------|------------|-----------------|---------------|---------------|------------|
| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
| I 固定資産 | | | | I 固定負債 | 7,644 | 7,138 | △506 |
| 1 有形固定資産 | 46,219 | 45,825 | △394 | 資産見返負債 | 7,191 | 6,715 | △476 |
| 土地 | 29,709 | 29,709 | 0 | 長期借入金 | — | — | — |
| 建物等 | 11,180 | 11,124 | △56 | 退職給付引当金 | — | — | — |
| 工具器具備品等 | 1,652 | 1,590 | △62 | 長期リース債務 | 453 | 422 | △31 |
| 図書等 | 3,676 | 3,399 | △277 | II 流動負債 | 2,576 | 3,149 | 573 |
| 2 無形固定資産 | 304 | 280 | △24 | 運営費交付金債務 | 10 | 18 | 8 |
| 3 投資その他の資産 | 305 | 305 | 0 | 寄附金債務等 | 1,066 | 1,258 | 192 |
| 固定資産合計 | 46,828 | 46,411 | △417 | 前受金 | 175 | 407 | 232 |
| II 流動資産 | | | | 預り金 | 84 | 138 | 54 |
| 現金及び預金 | 1,627 | 2,208 | 581 | 未払い金等 | 1,239 | 1,327 | 88 |
| 未収学生納付金収入 | 41 | 78 | 37 | 負債合計 | 10,221 | 10,288 | 67 |
| 未収入金等 | 232 | 181 | △51 | 純資産の部 | | | |
| 流動資産合計 | 1,900 | 2,468 | 568 | I 資本金 | 41,620 | 41,620 | 0 |
| 資産合計 | 48,729 | 48,880 | 151 | II 資本剰余金 | △3,351 | △3,240 | 111 |
| | | | | III 利益剰余金 | 239 | 211 | △28 |
| | | | | 純資産合計 | 38,508 | 38,591 | 83 |
| | | | | 負債・純資産合計 | 48,729 | 48,880 | 151 |

※単位未満切り捨てのため、表上の計算が合わない箇所があります。



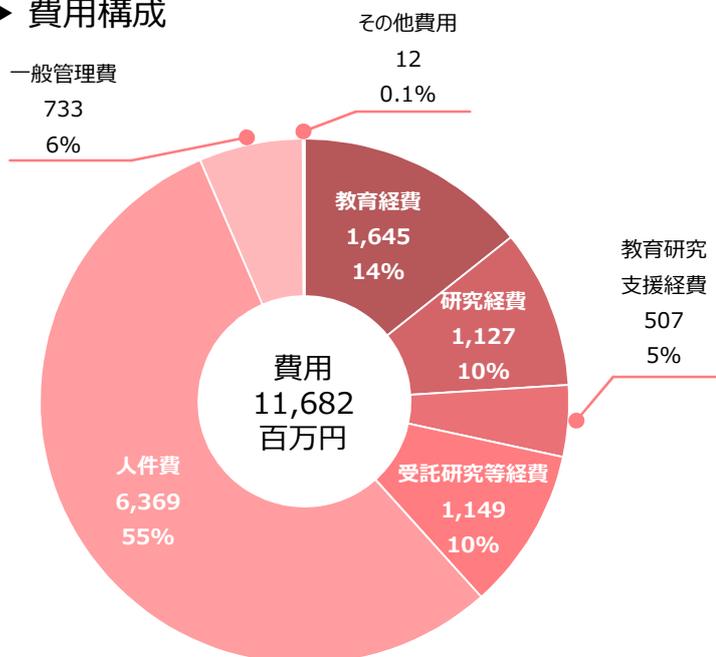
損益計算書の概要

【単位：百万円】
※百万円未満切り捨て

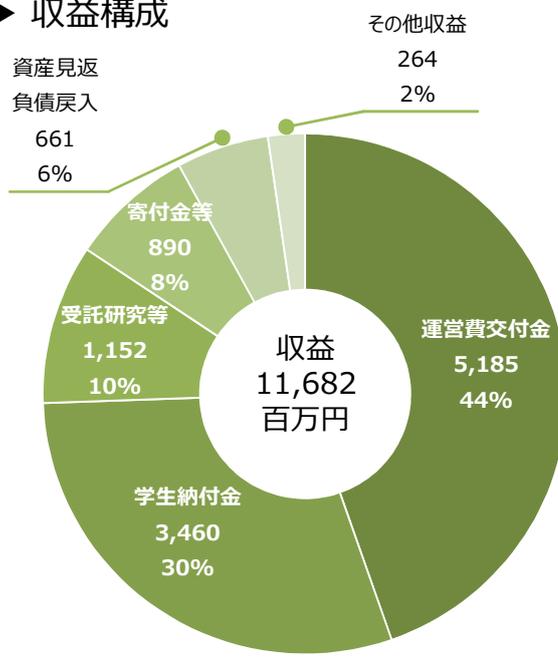
| 科目 | 30年度 | 元年度 | 増減 | 科目 | 30年度 | 元年度 | 増減 |
|---------------|---------------|---------------|------------|------------------|---------------|---------------|------------|
| 経常費用 | | | | 経常収益 | | | |
| 業務費 | 10,729 | 10,799 | 70 | 運営費交付金収益 | 5,234 | 5,185 | △49 |
| 教育経費 | 1,552 | 1,645 | 93 | 学生納金収益 | 3,427 | 3,460 | 33 |
| 研究経費 | 1,152 | 1,127 | △25 | 受託研究等収益 | 1,169 | 1,152 | △17 |
| 教育研究支援経費 | 374 | 507 | 133 | 寄付金等収益 | 624 | 890 | 266 |
| 受託研究費等 | 1,165 | 1,149 | △16 | 資産見返負債戻入 | 648 | 661 | 13 |
| 人件費 | 6,484 | 6,369 | △115 | 財務収益 | — | — | — |
| 一般管理費 | 713 | 733 | 20 | 雑益 | 264 | 264 | 0 |
| 財務費用 | 28 | 12 | △16 | | | | |
| 経常費用 計 | 11,471 | 11,545 | 74 | 経常収益 計 | 11,368 | 11,615 | 247 |
| 臨時損失 | 29 | 22 | △7 | 臨時利益 | 29 | 24 | △5 |
| 当期総利益 | 7 | 114 | 107 | 目的積立金等取崩額 | 109 | 43 | △66 |
| 合計 | 11,507 | 11,682 | 175 | 合計 | 11,507 | 11,682 | 175 |

※単位未満切り捨てのため、表上の計算が合わない箇所があります。

費用構成



収益構成



キャッシュ・フロー計算書の概要

一会計期間（元年度決算では平成31年4月1日～令和2年3月31日）におけるお金の流れの状況を一定の活動区分別に表したものです。

【単位：百万円】
※百万円未満切り捨て

| 区分 | 30年度 | 元年度 | 増減 |
|---------------------------------------------------------|-------|-------|-----|
| I 業務活動によるキャッシュ・フロー | 894 | 861 | △32 |
| 原材料、商品又はサービスの購入による支出、人件費支出、 運営費交付金収入、授業料収入、受託研究等収入 等 | | | |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | △512 | △36 | 476 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出 施設費による収入、定期預金預入・払戻による支出・収入 等 | | | |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | △243 | △244 | 0 |
| リース債務の返済による支出 | | | |
| V 資金増減額 | 138 | 581 | 442 |
| VI 資金期首残高 | 1,248 | 1,387 | 138 |
| VII 資金期末残高 | 1,387 | 1,968 | 581 |

※単位未満切り捨てのため、表上の計算が合わない箇所があります。

- I 業務活動によるキャッシュ・フロー： 教育研究等の通常の業務活動に伴う資金の動き
- II 投資活動によるキャッシュ・フロー： 将来の運営基盤確立に向けての投資状況
- III 財務活動によるキャッシュ・フロー： 借入金等の資金調達に関する収支活動

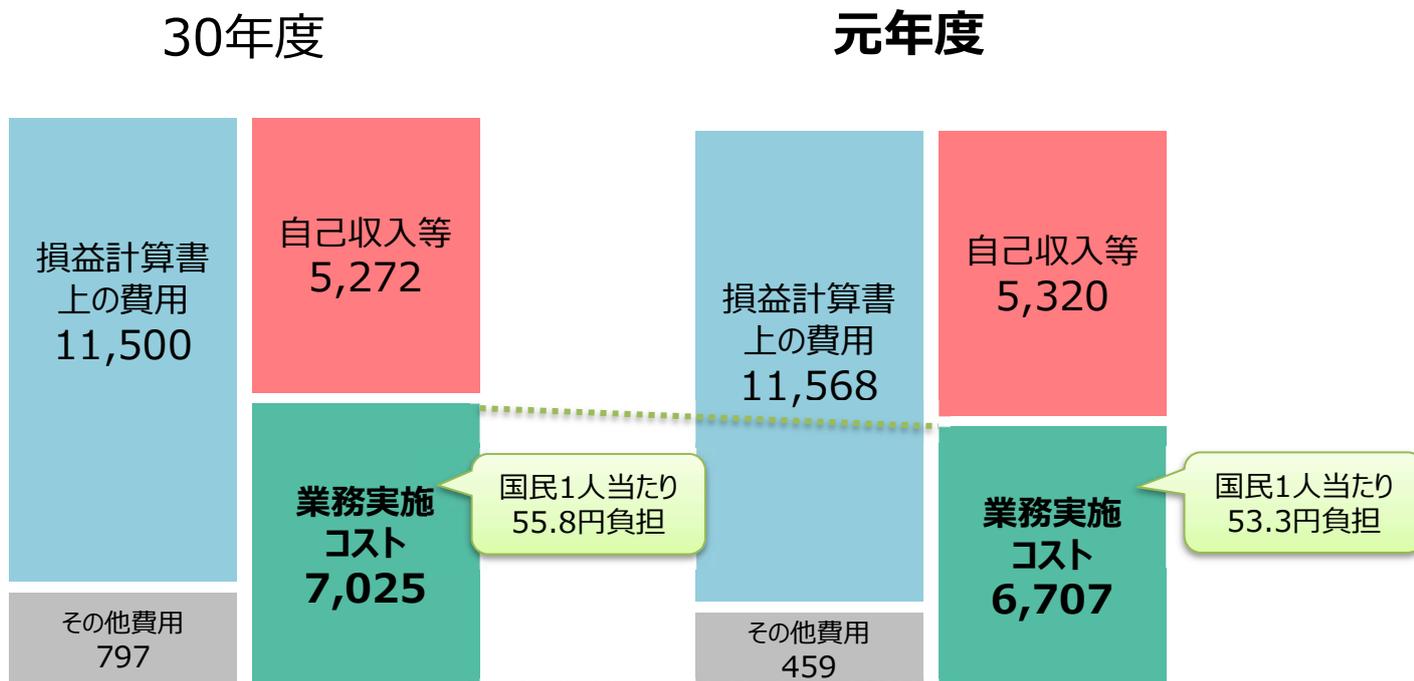
業務実施コスト計算書の概要

一年間（元年度決算では平成31年4月1日～令和2年3月31日）の業務運営を行う上で、国民が負担したコストを表したものです。

【単位：百万円】
※百万円未満切り捨て

| 区分 | 30年度 | 元年度 | 増減 |
|--------------------------------|--------|--------|------|
| I 業務費用 | 6,227 | 6,248 | △29 |
| （1）損益計算書上の業務費用 | 11,500 | 11,568 | 68 |
| 経常費用 | 11,471 | 11,545 | 74 |
| 臨時損失 | 29 | 22 | △7 |
| （2）（控除）自己収入等 | △5,272 | △5,320 | △48 |
| 学生納付金収益 | △3,427 | △3,460 | △33 |
| 受託研究等収益 | △1,169 | △1,152 | 17 |
| 寄附金等収益 | △297 | △308 | △11 |
| 財務収益 | — | — | — |
| 資産見返戻入（授業料・寄附金） | △214 | △233 | △19 |
| 雑益・臨時利益 | △164 | △165 | △1 |
| II～XI 損益外減価償却等相当額、機会費用等 | 797 | 459 | △338 |
| XII 国立大学法人業務実施コスト | 7,025 | 6,707 | △318 |

※単位未満切り捨てのため、表上の計算が合わない箇所があります。



※ 日本の総人口は1億2593万人（総務省統計局「人口推計」（令和2年4月1日現在））

利益の処分に関する書類の概要

決算後に確定した最終的な利益の処分の内容を表したものです。

当期末処分利益については、剰余金の使用を文部科学大臣に申請し、財務大臣との協議の上、文部科学大臣による経営努力認定により承認された剰余金が「目的積立金」となります。

目的積立金の使途について、本学においては、「大学改革に向けた教育研究の質の向上及び組織運営の改善のため、設備及び施設の整備」に充てることとしています。

【単位：百万円】
※百万円未満切り捨て

| 区分 | 元年度 |
|---------------------------|-----|
| 当期末処分利益（当期総利益） | 114 |
| 積立金 | 0 |
| 教育研究向上・運営改善積立金 （目的積立金） | 114 |

※単位未満切り捨てのため、表上の計算が合わない箇所があります。

※ 令和2年9月14日付けで文部科学大臣より、令和元事業年度における剰余金の翌事業年度への繰越に係る承認がなされました。

決算報告書の概要

収入

【単位：百万円】

※百万円未満切り捨て

| 区分 | 予算額 | 決算額 | 差額 |
|-------------------|--------|--------|-----|
| 収入 | 10,802 | 11,736 | 933 |
| 運営費交付金 | 5,325 | 5,369 | 44 |
| 施設整備費補助金 | 614 | 561 | △52 |
| 補助金等収入 | 205 | 404 | 199 |
| 大学改革支援・学位授与機構交付金 | 25 | 25 | 0 |
| 自己収入 | 3,481 | 3,472 | △8 |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 3,175 | 3,116 | △59 |
| 雑収入 | 305 | 356 | 51 |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 1,150 | 1,760 | 610 |
| 目的積立金取崩 | 0 | 142 | 142 |

特殊要因経費（年俸制導入促進費）の追加交付による増

追加の交付等による増

休学者の増などによる減

間接経費等研究関連収入及び財産貸付料収入等の増

受託研究収入及び受託事業収入の増

※単位未満切り捨てのため、表上の計算が合わない箇所があります。

支出

【単位：百万円】

※百万円未満切り捨て

| 区分 | 予算額 | 決算額 | 差額 |
|--------------------|--------|--------|-----|
| 支出 | 10,802 | 11,186 | 383 |
| 業務費 | 8,800 | 8,837 | 36 |
| 教育研究経費 | 8,800 | 8,837 | 36 |
| 財務費用 | 6 | 8 | 1 |
| 施設整備費 | 639 | 586 | △52 |
| 補助金等 | 205 | 404 | 199 |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 1,150 | 1,349 | 198 |

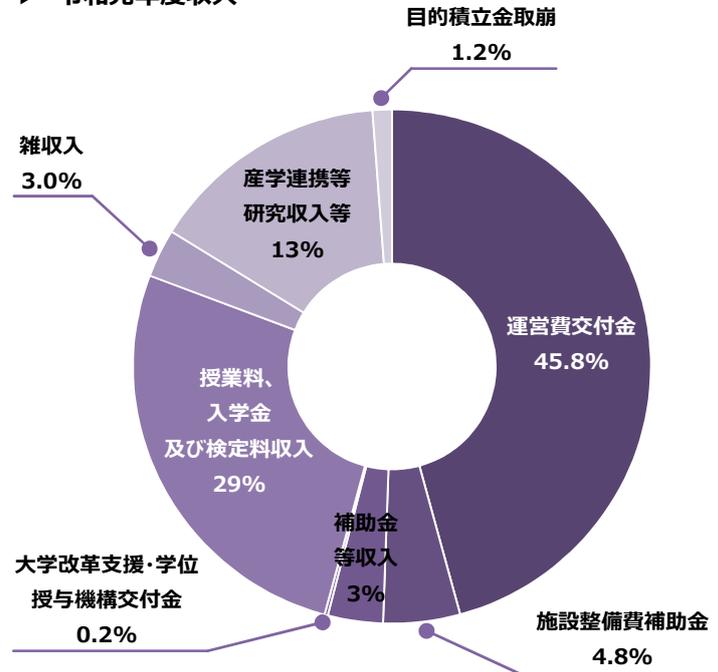
教育研究活動の充実による増

追加の交付等による増

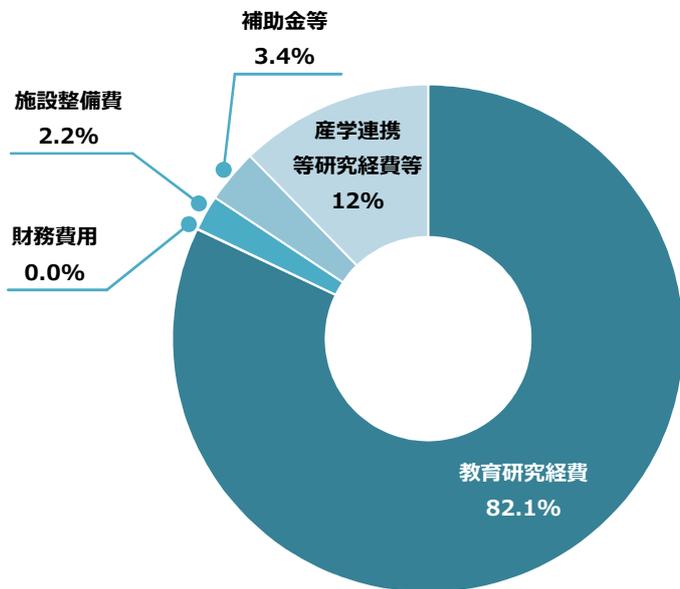
受託研究収入及び受託事業収入の増

※単位未満切り捨てのため、表上の計算が合わない箇所があります。

▶ 令和元年度収入



▶ 令和元年度支出





国立大学法人

九州工業大学

未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」

最先端のテクノロジーをはじめ、技術を支える仕組みやデザイン。
これら全て、人を取り巻くあらゆる“モノ”（もの、そしてこと）は、
明治開校から100年以上に渡り九州工業大学が生み出し提供してきたものです。

多様化、複雑化し続ける世界に向かい新たな価値を生み出す“モノ”づくり、
そしてそれを担う“ひと”づくり。
「専門領域」「大学」「国」「ジェンダー」あらゆる垣根を越えて
知を接続し、組み合わせ、さらには世界を見据え、未来を考えることができる人材を
輩出し続けることを約束します。

「技術に堪能なる士君子」の養成
大学のDNAとして受け継がれる安川、山川両先生のメッセージである
建学の理念を現代の言葉として紐解き、
世の中に約束する九州工業大学のタグラインとしました。

九州工業大学財務レポート2019

お問い合わせ | 九州工業大学会計課

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

TEL 093-884-3024

URL <http://www.kyutech.ac.jp/information/zaimu.html>
